

**2012年3月期  
第2四半期決算説明資料**

**2011年10月31日  
株式会社IHI**

# 2012年3月期 第2四半期連結決算の概要

2011年5月6日発表業績予想

(億円)

	'10年度2Q	'11年度2Q	増	減
受注高	4,900	6,242		1,342
売上高	5,636	5,500 5,259	▲241	▲377
営業利益	291	140 190	50	▲100
経常利益	250	100 135	35	▲115
税金等調整前 四半期(当期)純利益	214	95		▲118
四半期(当期)純利益	134	70 50	▲20	▲84

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

'11年度2Qにおける特別損益(▲39億円)の内訳： 投資有価証券評価損  
減損損失

▲35億円  
▲4億円

# セグメント別 連結決算の概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	'10年度2Q	'11年度2Q	増減	'10年度2Q	'11年度2Q	増減
資源・エネルギー	1,587	1,320	▲267	154	▲5	▲159
船舶・海洋	994	845	▲148	45	51	5
社会基盤	508	487	▲21	36	35	▲0
物流・産業機械	584	538	▲45	▲1	▲2	▲0
回転・量産機械	626	789	162	33	57	24
航空・宇宙	1,216	1,190	▲25	23	54	30
その他	595	522	▲73	17	17	▲0
調整額	▲476	▲435	40	▲18	▲17	1
合計	5,636	5,259	▲377	291	190	▲100

# 営業利益の前年同期比増減要因(セグメント別)

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	資材費の 変 動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	▲139	▲19	▲2	▲13	14	▲159
船舶・海洋	▲17	37	▲7	▲11	4	5
社会基盤	▲4	7	-	-	▲4	▲0
物流・産業機械	▲9	10	-	-	▲2	▲0
回転・量産機械	36	2	-	-	▲14	24
航空・宇宙	8	46	▲2	▲26	4	30
その他	▲3	7	-	-	▲4	▲0
調整額	-	▲8	-	-	9	1
合 計	▲128	82	▲11	▲50	7	▲100

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない。

# 対前第2四半期比営業外損益増減要因分析

## ◇営業外損益の増減要因 (▲15億円)

(億円)

	'10年度2Q	'11年度2Q	増減
金融収支	▲11	▲8	3
為替差損益	▲51	▲34	16
持分法による投資損益	1	2	1
その他	20	▲15	▲35
<b>営業外損益の増減額</b>	<b>▲40</b>	<b>▲55</b>	<b>▲15</b>

# セグメント別 受注高

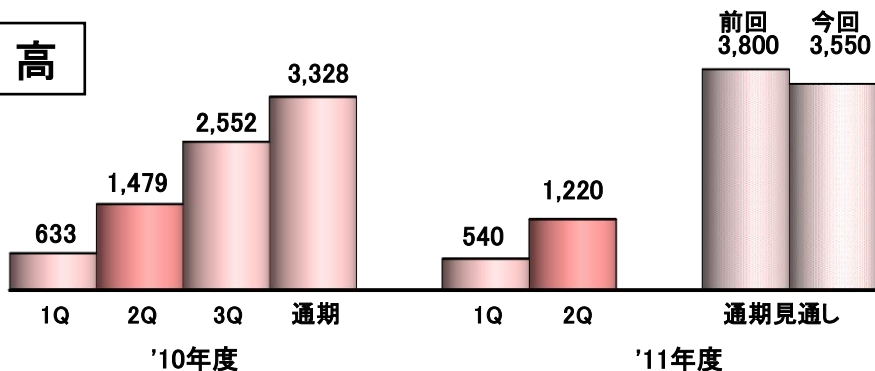
(億円)

	受 注 高		
	'10年度2Q	'11年度2Q	増 減
資源・エネルギー	1,479	1,220	▲258
船舶・海洋	333	420	86
社会基盤	520	1,442	921
物流・産業機械	669	816	147
回転・量産機械	672	837	165
航空・宇宙	1,144	1,388	244
その他	531	522	▲9
調整額	▲451	▲407	44
合 計	4,900	6,242	1,342

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ボイラ, 原子力機器, 陸船用原動機, 化学プラント, 貯蔵設備, F-LNG

## 受注高

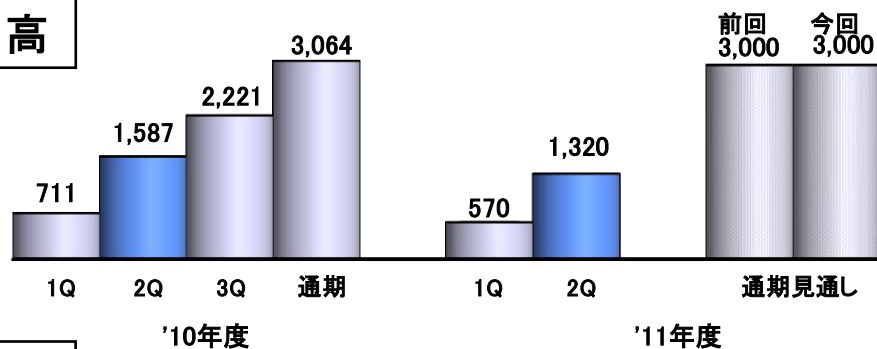


### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

化学プラントが増加したものの、ボイラが減少したため、対前年同期比 ▲258億円(▲17.5%)となった。

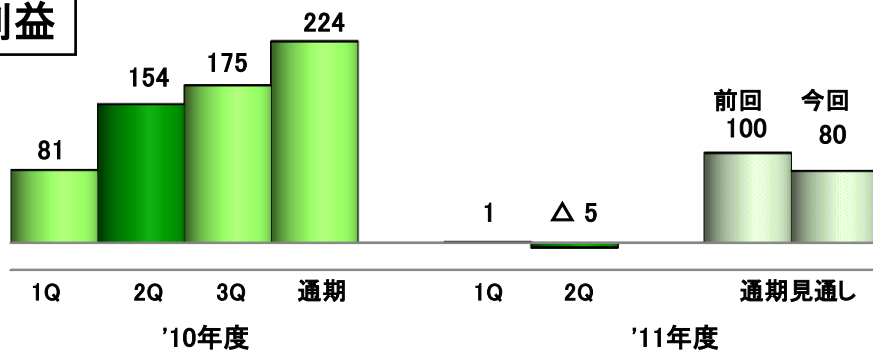
## 売上高



#### 【売上高/営業利益】

ボイラ, 原子力機器, 化学プラントが減収となったため、対前年同期比 ▲267億円(▲16.8%) / ▲159億円(▲103.4%)の減収減益となった。

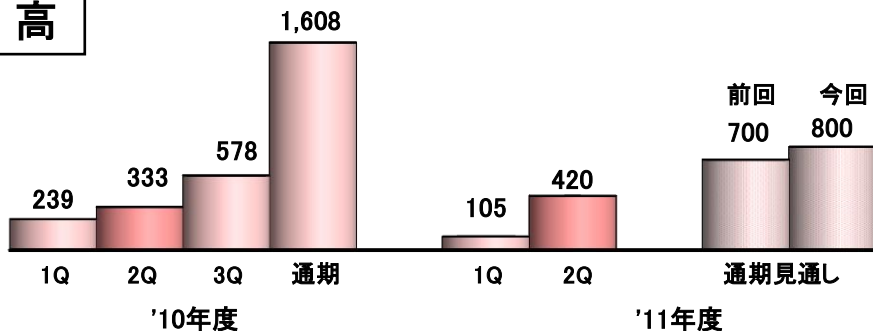
## 営業利益



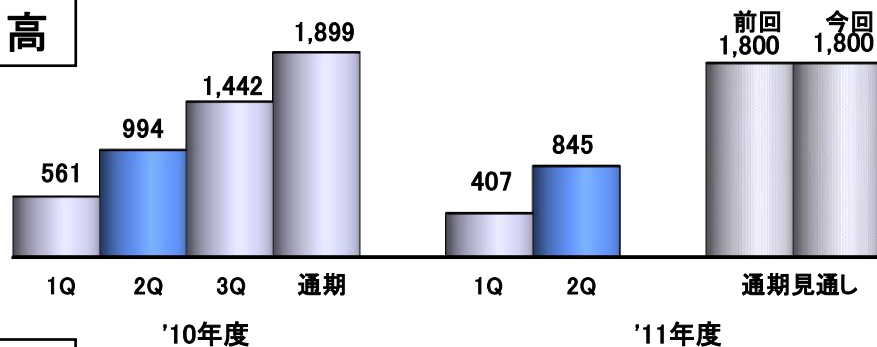
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:新造船, 修理船

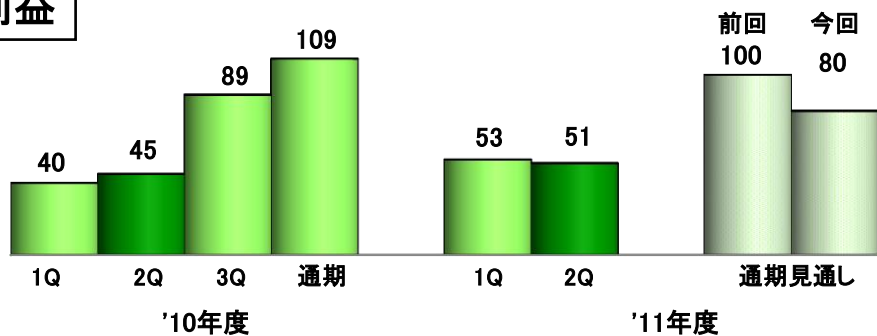
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

・新造船6隻の受注(タンカー1隻, バルクキャリア5隻)により, 対前年同期比 +86億円 (+26.0%) となった。

・前年同期における受注隻数は, 7隻(バルクキャリア7隻)であった。

#### 【売上高/営業利益】

・新造船, 修理船ともに減収となったものの, 新造船の採算改善が減収や為替円高による減益要因を相殺し, 対前年同期比 ▲148億円 (▲14.9%)/+5億円(+12.8%) の減収増益となった。

・当期はタンカー2隻, バルクキャリア9隻, 浚渫船1隻の合計12隻を引き渡した。

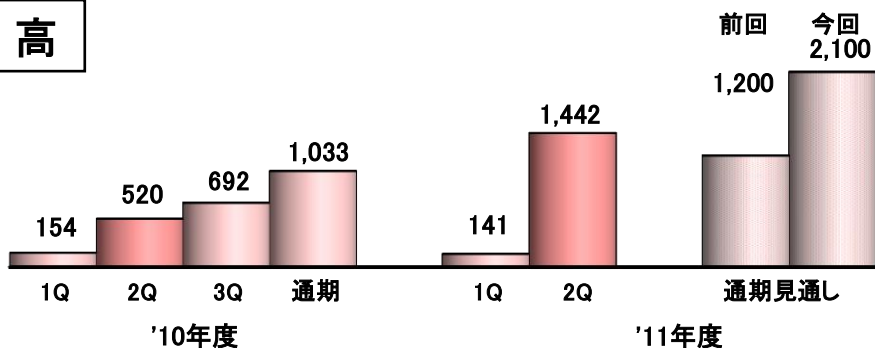
・前年同期における引渡隻数は, 9隻(タンカー3隻, コンテナ船1隻, バルクキャリア5隻)であった。



(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 橋梁, 水門, コンクリート製品, 掘進機, 不動産分譲・賃貸

## 受注高

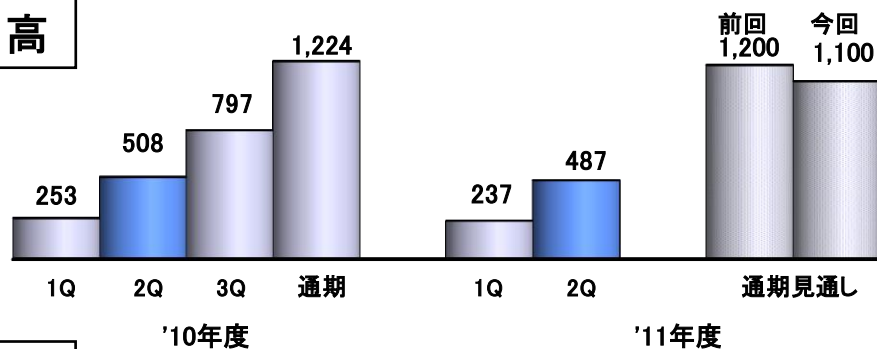


## <対前第2四半期 増減内訳>

### 【受注高】

イズミット湾(トルコ)横断橋工事受注により、鋼製橋梁が増加し、対前年同期比 +921億円(+177.0%)となった。

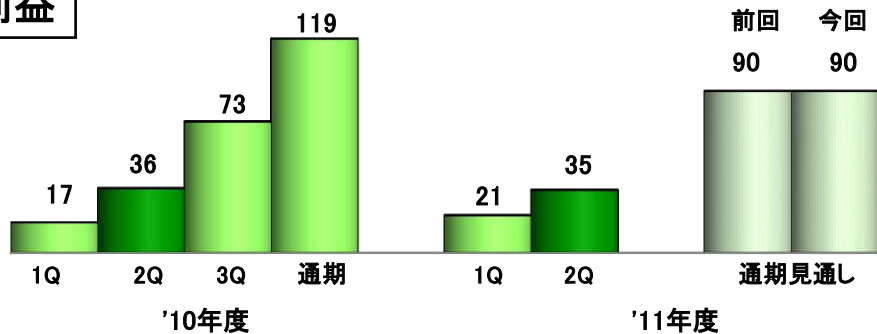
## 売上高



### 【売上高/営業利益】

不動産賃貸が増収となったものの、コンクリート橋梁や水門の減収により、対前年同期比で▲21億円(▲4.2%)/▲0億円(▲2.0%)の減収減益となった。

## 営業利益

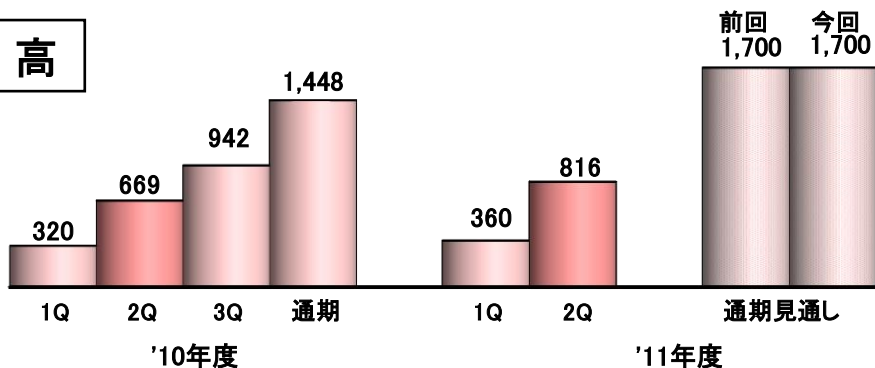


# 物流・産業機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 製鉄機械, 製紙機械, 交通システム

## 受注高

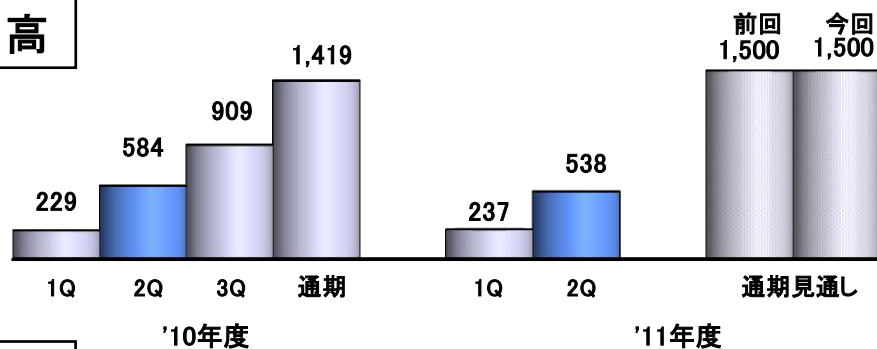


### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

運搬機械が減少したものの、製鉄機械、交通システム、物流システムの受注増加により、対前年同期比 **+147億円(+22.0%)** となった。

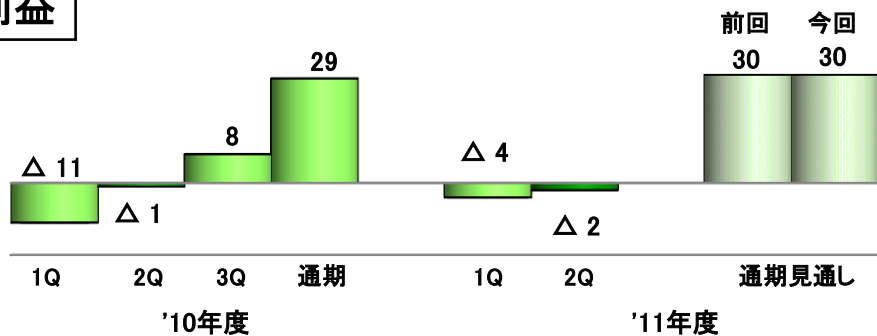
## 売上高



#### 【売上高/営業利益】

物流システムが増収となったものの、製鉄機械、製紙機械、交通システムが減収となり、対前年同期比 **▲45億円(▲7.8%) / ▲0億円(-)** の減収減益となった。

## 営業利益

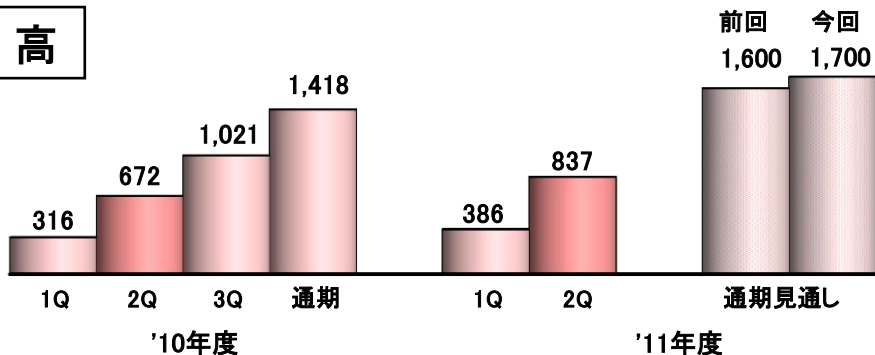


# 回転・量産機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 圧縮機, 分離機, 車両用過給機

## 受注高

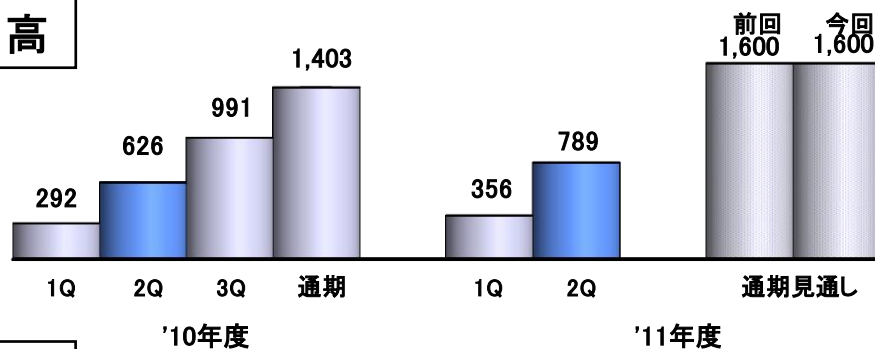


### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

車両過給機や圧縮機の受注が大幅に増加したため、対前年同期比 +165億円(+24.5%)となった。

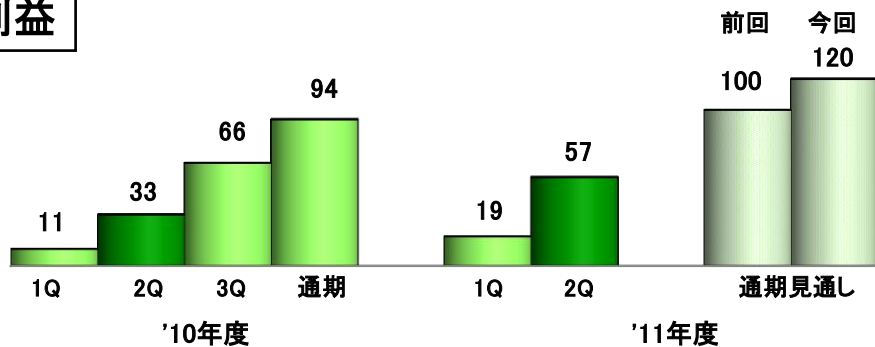
## 売上高



#### 【売上高/営業利益】

車両過給機, 圧縮機, 分離機が増収となったことで、対前年同期比 +162億円(+26.0%) / +24億円(+72.1%) の増収増益となった。

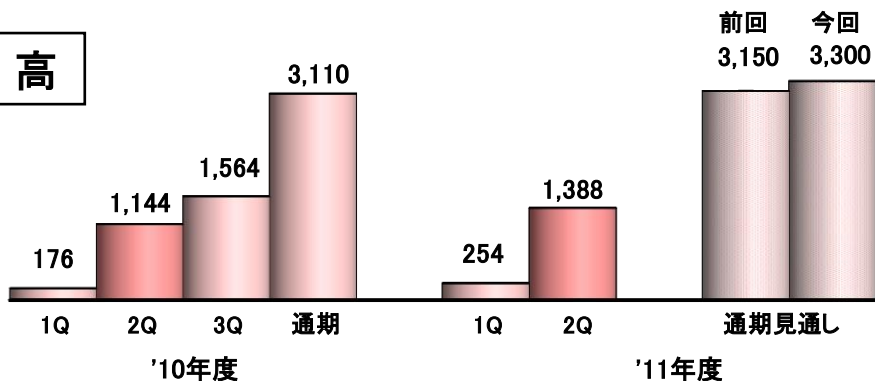
## 営業利益



(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 艦艇用ガスタービン

## 受注高

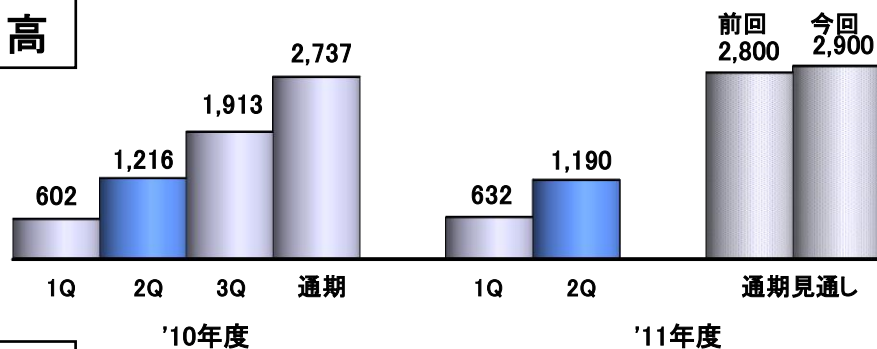


### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

航空エンジンの大幅な受注増加により, 対前年同期比 +244億円(+21.4%)となった。

## 売上高

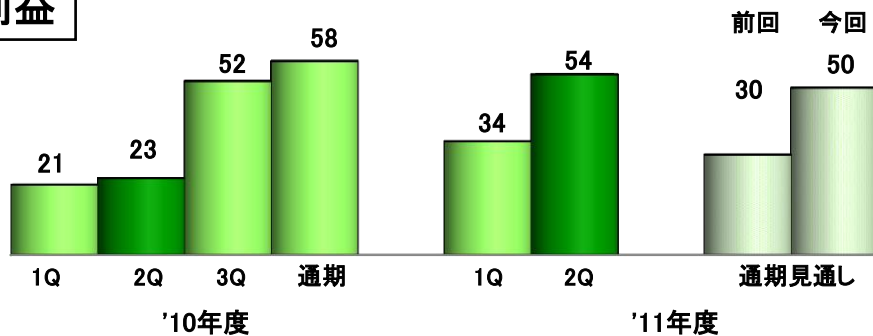


#### 【売上高/営業利益】

・売上高は, 円高で推移した為替相場の影響により, 対前年同期比 ▲25億円(▲2.1%)となった。

・営業利益は, 民間向け航空エンジンの採算改善により対前年同期比 +30億円(+128.1%)となった。

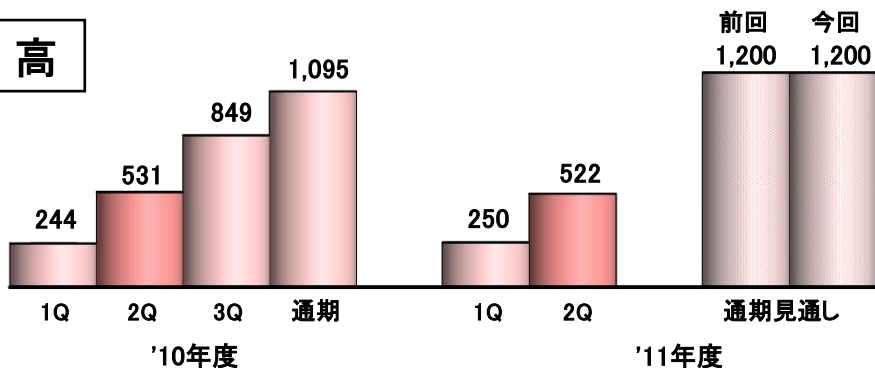
## 営業利益



(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 船用ディーゼル, 建設機械, 農業機械, サービス

## 受注高

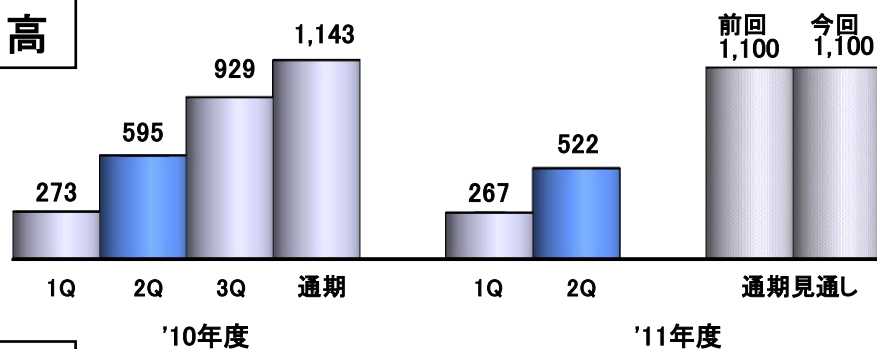


### <対前第2四半期 増減内訳>

#### 【受注高】

農業機械や建設機械等が減少したことにより、対前年同期比 ▲9億円(▲1.7%)となった。

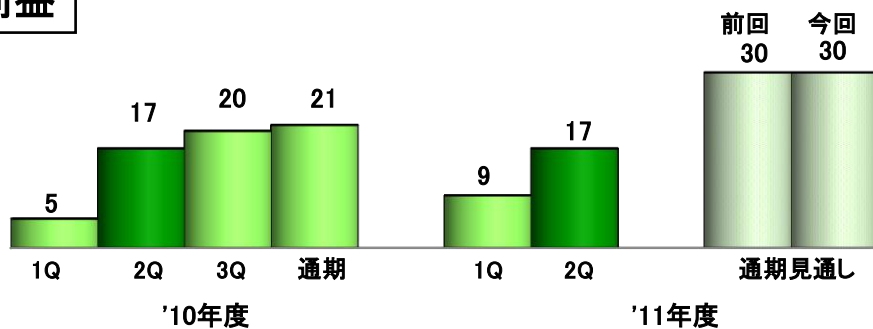
## 売上高



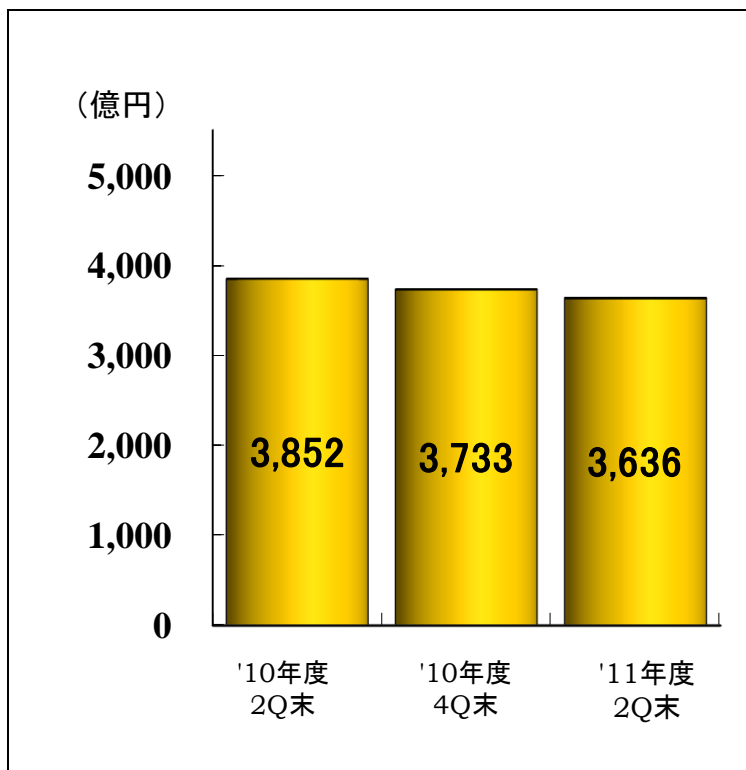
#### 【売上高/営業利益】

建設機械で増収となったものの、農業機械、船用ディーゼルが減収となった結果、対前年同期比 ▲73億円(▲12.3%)/▲0億円(▲2.5%)の減収減益となった。

## 営業利益

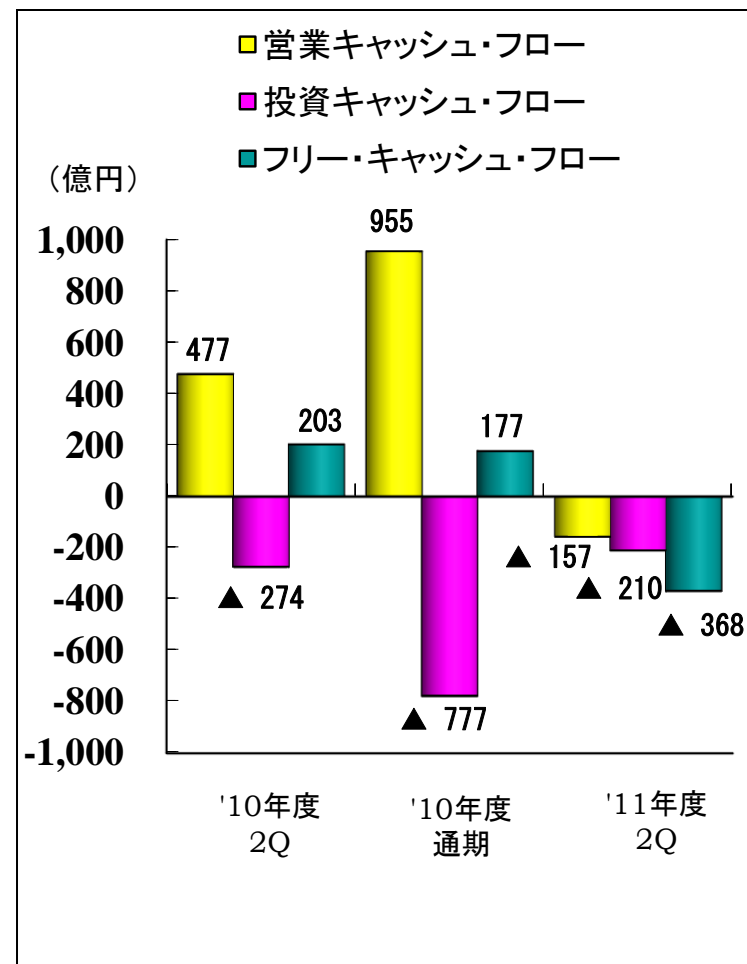


## 連結有利子負債



有利子負債残高には、リース債務残高('10年度2Q末: 108億円, '10年度4Q末: 127億円, '11年度2Q末: 137億円)を含む。

## 連結キャッシュ・フロー





# セグメント別 連結業績の見通し

(億円)

	今回見通し			対前回見通し 増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネルギー	3,550	3,000	80	▲250	0	▲20
船舶・海洋	800	1,800	80	100	0	▲20
社会基盤	2,100	1,100	90	900	▲100	0
物流・産業機械	1,700	1,500	30	0	0	0
回転・量産機械	1,700	1,600	120	100	0	20
航空・宇宙	3,300	2,900	50	150	100	20
その他	1,200	1,100	30	0	0	0
調整額	▲850	▲1,000	▲50	0	0	0
合計	13,500	12,000	430	1,000	0	0



Explore the Engineering Edge

IHI

#### ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。